

事業シート(令和4年度予算)

o.下水道事業_1

事業名	11100 営業費用(管きよ費、処理場費、総係費、減価償却費他)	予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の方々と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	1	下水道事業費用		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	営業費用		根拠計画		下水道ビジョン・経営戦略		
			目				過疎地域持続的発展計画				
担当課	水道部 下水道課	内線	2264								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 ・施設の維持管理を適切に行い、施設の健全化及び長寿命化を図る。 ・下水道受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した下水道事業の運営を行う。 ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進し、できるだけ多くの市民に下水道を使用してもらう。 ・下水道事業の経営の効率化・透明化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し必要に応じて修繕を行う。 ・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に迅速に対応する。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する。 ・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う。 ・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と広報・戸別訪問等による水洗化啓発を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
生活排水処理率	94.2%		95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	92.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		3,059,584	2,968,334	2,995,039		
特定財源	国費(農村漁村地域整備交付金10/10)	50,000	32,000			
	県費					
	起債					
その他財源		3,009,584	2,936,334	2,995,039		
個票枝番	主な事業内容					
	管きよ施設の維持管理	140,890	127,207	152,575		
	処理施設の維持管理	745,941	699,551	743,270		
	減価償却費	2,056,743	2,049,555	2,022,335		
	資産減耗費	28,018	27,998	40,490		
	マンホールカード、カラーマンホールの製作	720	95	270		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,093,994	3,077,822	3,077,822	82,783
16,000	16,000	16,000	16,000
3,077,994	3,061,822	3,061,822	66,783
査定額	説明		
154,655			
770,605			
2,023,122			
52,398			
360			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道料金現年度分収納率 99.07% ・負担金現年度分収納率 99.34% ・分担金現年度分収納率 100% ・経費回収率 86.26% ・水洗化人口 76,210人 ・有収率 72.24% ・管きよ修繕 103か所 ・水洗化啓発文書の配布による水洗化向上施策の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響などにより、下水道使用料収入が減少した。 ・料金収入の確保と負担の公平性の観点から、料金滞納の未然防止に努めるとともに、適切な債権管理を行う必要がある。 ・管きよ修繕等により、有収率の向上に努める必要がある。 ・下水道事業の経営安定化を図るため、生活排水処理率のさらなる向上を目指し、引き続き下水道接続の啓発活動を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水の適正処理による快適な生活環境と流域の良好な水質確保のため、不明水調査や管きよ修繕等による有収率の向上に努める。 ・料金滞納の未然防止に努め、収納率向上により資金を確保する。 ・汚水処理の最新技術導入の検討等、徹底した経営の効率化を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

o.下水道事業_1

事業シート(令和4年度予算)

o.下水道事業 2

事業名	12100 営業外費用(預託金、支払利子、消費税他)	予算	会計	17	下水道事業会計	総会計画	まちづくりの方向性		市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	1	下水道事業費用		まちづくり戦略			
			項	2	営業外費用		下水道ビジョン・経営戦略			
			目							
担当課	水道部 下水道課	内線	2264	根拠計画						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 ・施設の維持管理を適切に行い、施設の健全化及び長寿命化を図る。 ・下水道受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収することで収入の確保を図り、安定した下水道事業の運営を行う。 ・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進し、できるだけ多くの市民に下水道を使用してもらう。 ・下水道事業の企業会計化により、経営の効率化・透明化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道接続率の向上のための水洗便所等改造資金融資預託金 ・下水道施設整備に伴い起こした企業債の利息 等
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
生活排水処理率	94.2%		95%
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	92.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	485,733	471,976	360,875			
特定財源						
国費()						
県費()						
起債()						
その他財源	485,733	471,976	360,875			
個票枝番	主な事業内容					
	水洗化資金融資預託金	6,000	1,200	6,000		
	地方債利子	350,301	346,540	312,375		
	消費税	99,450	95,750	41,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
325,840	327,693	327,693	△ 33,182
325,840	327,693	327,693	△ 33,182
査定額	説明		
6,000			
279,437			
40,856			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設整備に伴い起した企業債の利子償還 ・生活排水処理率向上のための水洗化資金融資に対する預託
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るように努めていることに加え、企業債の利率が低利となっているため、利子負担は軽減されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、企業債の発行額を企業債元金償還金を下回るよう計画的な資金調達に努め、利子負担の軽減を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

o.下水道事業 2

事業シート(令和4年度予算)

o.下水道事業_3

事業名	21100	管きよ施設費	予算	会計	17	下水道事業会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
				款	1	資本的支出		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
				項	1	建設改良費		根拠計画		下水道ビジョン・経営戦略		
				目	1	管きよ建設費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
担当課	水道部 下水道課		内線	2264								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 処理区域の再編により、維持管理・施設更新費用の削減を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化したマンホール蓋を計画的に更新する。 下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きよ整備を行う。 上中処理区と福地処理区の再編整備を行う。 次期統合予定箇所の実施に向けた関係者及び関係機関と協議調整を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
生活排水処理率	94.2%		95%
安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われていると感じている市民の割合	92.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	203,054	150,161	283,409			
特定財源	国費(社会資本整備総合交付金1/2)	72,150	52,000	101,450		
	県費					
	起債(市債)	86,500	80,500	154,400		
その他財源	44,404	17,661	27,559			
個票枝番	主な事業内容					
	汚水管きよ布設、マンホール蓋取替	158,600	147,108	145,800		
	下水道処理区域再編整備	40,000		125,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		326,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
327,603	325,819	325,819	42,410	
101,400	101,400	101,400	△ 50	
197,600	196,200	196,200	41,800	
28,603	28,219	28,219	660	
査定額	説明			
186,600				
134,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 未整備地域(冬頭町・西之一色町)の管きよ整備 301.1m マンホール蓋の更新整備 146箇所 中継施設の設備更新 14箇所 処理区(特環福地・農業上中・農業荒城)再編整備詳細設計の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修等関連事業の実施に合わせ、未整備地域の管きよ整備に着手した。 下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新や中継施設の設備更新を計画的に行った。 投資効果が高く実効性のある処理区の統合に着手した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した管きよ施設の計画的な更新をすすめる。 関連事業に同調した未整備地域の解消をすすめる。 3処理区以外の処理区統合に向け詳細な検討を開始する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

o.下水道事業_3

事業シート(令和4年度予算)

o.下水道事業 4

事業名	21200 処理場建設費	予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	1	資本的支出		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	建設改良費	根拠計画	下水道ビジョン・経営戦略				
			目	2	処理場建設費		過疎地域持続的発展計画				
担当課	水道部 下水道課	内線	2264								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の設備及び機器の更新・長寿命化を行い、処理場の機能維持を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器の計画的な更新及び長寿命化工事を実施する。 特定環境保全公共下水道処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した施設や機器の更新を計画的に実施する。 農業集落排水施設・設備の機能診断結果に基づき更新・長寿命化を図る。 水処理機耐震診断結果に基づき、全機耐震や部分耐震、又は改築等、整備方針を検討する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	92.4%		↗
下水道処理施設数	50施設		47施設

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	637,804	426,363	560,060			
特定財源	国費 (社会資本整備総合交付金1/2.5.5/10)	269,997	174,330	250,050		
	県費 ()					
	起債 (市債)	315,400	219,300	248,300		
その他財源	52,407	32,733	61,710			
個票枝番	主な事業内容					
	公共下水道宮川終末処理場中央監視設備長寿命化	12,000	10,154	306,000		
	処理施設の長寿命化	157,740	136,703	40,100		
	公共下水道宮川終末処理場水処理機耐震化			66,000		
	公共下水道宮川終末処理場沈砂池設備長寿命化	456,206	268,448	105,000		
	公共下水道宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化(旧炉設備改造)	8,360	8,360			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		336,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
337,275	335,888	335,888	△ 224,172	
151,850	153,750	153,750	△ 96,300	
162,100	162,400	162,400	△ 85,900	
23,325	19,738	19,738	△ 41,972	
査定額	説明			
194,000				
139,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 沈砂池整備更新(平成31年度～令和3年度継続事業)の実施 中央監視設備更新(令和2年度～令和4年度継続事業)の実施 特定環境保全下水道処理場の長寿命化を図るための設備更新の実施 N=6処理場 農業集落排水処理施設の長寿命化を図るための設備更新の実施 N=8処理区
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 下水道ビジョン及び下水道事業ストックマネジメント計画の方針に基づき、計画的な設備更新を実施している。 施設の多くが供用開始後相当の年数が経過し老朽化が進んでいるため、予防保全による安定した処理機能の保持が重要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の重要度に合わせ、予防保全と対処保全の組み合わせにより、更新工事を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

o.下水道事業 4

事業シート(令和4年度予算)

o.下水道事業 5

事業名	21300 有形固定資産購入費	予算	会計	17	下水道事業会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約	・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。		
			款	1	資本的支出		まちづくり戦略					
			項	1	建設改良費		根拠計画				下水道ビジョン・経営戦略	
			目	3	有形固定資産購入費							
担当課	水道部 下水道課	内線	2264									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 汚水が適正に処理された快適な生活環境を維持する。 災害に伴う大規模停電時において、マンホールポンプ施設を正常に稼働し、汚水処理を継続的に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 汚水の適正処理に必要な機器等を整備する。 停電時に、常時稼働が必要な幹線上のマンホールポンプに発電機を設置する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	92.4%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		14,400	11,484	3,400		
特定財源	国費 (社会資本整備総合交付金1/2)	6,800	4,181	1,700		
	県費 ()					
	起債 ()					
その他財源		7,600	7,303	1,700		
個票枝番	主な事業内容					
	非常用発電機の整備	11,400	9,782	3,400		
	計測装置の整備					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
288	300	300	△ 3,100
			△ 1,700
288	300	300	△ 1,400
査定額	説明		
300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・非常用発電機3台購入
評価等	・災害時の電源喪失時であっても、主要中継施設の電源を確保する体制を整備した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> □ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R2完了 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> □ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R3完了 □ R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	処理場に必要な計測装置の整備に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・精算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

o.下水道事業 5